



夢いろキャンパス

kadoma

第5回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテスト

2月21日、ルミエールホールで第5回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストが開催されました。
当日は、市在住の中学1・2年生747人の応募者から選ばれた18人が、「今、伝えたいこと」をテーマにそれぞれの思いを発表しました。
中学生が、流暢な英語で発表し、質問者との英語での質疑にも堂々と答えていました。
最優秀賞には、第三中学校1年の米澤琴花さんが選ばれました。



英語で思いを発表

門真小学校で収穫祭 児童が育てたもち米でもちつき



餅つきを体験する児童

2月12日、門真小学校で5年生の児童約90人が同小学校の体育館で、自分たちが育てたもち米を使って餅つきをしました。
5月に、小学校の敷地内で学校支援ボランティアの指導のもと、田植えをし、11月にもち米を収穫しました。児童たちは、できあがった餅に、きなこ、大根おろし、あんこ、砂糖醤油などをつけ、みんなでおいしそうに食べていました。

食を通じた人と地域のつながり 二中フードフェスティバル2016

2月13日、第二中学校で二中フードフェスティバル2016が開催されました。
体育館では、地元の品評会で受賞した野菜の授賞式や、食の大切さの発表、ダンス、コーラスなどの舞台発表が行われました。また、グラウンドでは、地元自治会や教師、保護者が、たこせんやたい焼きなどの店を出店し、賑わいを見せました。
来場者には生徒たちが栽培した野菜で作られた熱々豚汁も振る舞われ、おいしそうにほおばっていました。



(写真上)生徒が育てた野菜が入った豚汁が振る舞われた(写真下)生徒たちが食の大切さを発表

第2回エコフェスティバルで「エコ」を「エンジョイ」

2月21日、リサイクルプラザで第2回エコフェスティバルが開催され、800人を超える参加者で賑わいました。
会場には、「enjoy eco (エンジョイ エコ)」をテーマに、環境について「学ぶ」「遊ぶ」「体験する」ことができるさまざまなブースが設置されました。



間伐材でミニカー作り

また、小学4年生を対象に募集したエコロジーアートコンクールの応募ポスターや、古布などをリサイクルした人形などの作品も展示されました。
来場した皆さんは、スタンプラリーをしながら会場を回り、環境クイズや間伐材を用いた工作、ステージでのライブやダンスなどを楽しんでいました。



「環境クイズ」では省エネなどについて学びました

防災意識高めよう 大和田小・五月田小で地域防災訓練

2月21日、大和田小学校と五月田小学校で各校区の防災訓練が行われました。訓練では、地域の皆さんによる炊き出しや、門真市消防団による消火器の使い方の指導がありました。
ほかにも、門真消防署や門真警



消防団員が消火器の使い方を指導(大和田小学校)



警察のレスキュー車が展示(五月田小学校)

署、市職員によるAEDやレスキュー車の説明、ハザードマップを使った防災講話などもあり、防災意識を高めるイベントとなりました。

広報かどまを一緒につくりませんか 市民特派員を募集

市内のイベントなどを取材して、広報かどまに記事や写真を掲載してみませんか。
対象 市在住でカメラを持っている16歳以上の人
定員 4人
※面談などにより選考
報酬 年額1万円
※活動諸経費を含む
任期 採用日～29年3月31日(金)



応募方法 4月28日(木)までに申請書に自身が撮影した写真を添付して郵送または直接
※郵送は4月28日(木)必着
※申請書は市ホームページからダウンロード可
応募・問合せ
〒571-8585
「門真市役所」秘書広報課
☎06(6902)5605

地域の課題解決へ「コミュニティビジネス」セミナー

2月15日、市民プラザで、地域の身近な課題の解決にビジネスの手法を取り入れる「コミュニティビジネス」に関するセ



地域の課題解決を学ぶために多くの人が参加

ミナーを開催しました。
セミナーでは、認定NPO法人大阪NPOセンター事務局の高見理恵さんによる概要解説と、有限会社officeパレット代表取締役の漆原由香利さんによる事例紹介が行われました。事例紹介では、待機児童問題解決への取り組みとして、地域で子どもの一時保育を実施して、その収益で預かれる子どもの定員を増やしていくなど、漆原さんが取り組むコミュニティビジネスの手法が紹介されました。
参加者は、「事例紹介を通じて、事業の具体性がつかめた」などと話していました。

広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。お問い合わせは、(株)ライダース・パブリシティ関西マーケティングプロモーション部 ☎06(6343)0331

広告